

インストール手順

SAS[®] 9.1.3 Service Pack

概要

SAS 9.1.3 Service Packは、配置したSAS 9.1.3のための最近のホットフィックスとアップデートを含んでおり、SASソフトウェアがインストールされているすべてのマシンに適用する必要があります。SAS 9.1.3 Service Packで修正された点は、この『SAS 9.1.3 Service Pack インストール手順』とともに梱包されている『SAS 9.1.3 Service Pack Addressed Issues（対処された問題）』で解説しています。

このドキュメントは、6つのセクションで構成されています。

- 「概要」は、このセクションです。
- 「適用前の手順」は、SAS 9.1.3 Service PackをCDからインストールする前に実行しておくべき事項について説明しています。
- 「Service Packの適用」は、サポートしているプラットフォームにSAS 9.1.3 Service Packをインストールする手順について説明しています。
- 「適用後の手順」は、SAS 9.1.3 Service Packのインストール後に実行しておくべき事項について説明しています。
- 「テクニカルサポート」は、SAS 9.1.3 Service Packに関連するさまざまな問題の解決にSASテクニカルサポートを利用することについて説明しています。
- 「付録」は、SAS 9.1.3 Service Packのインストールの検証に関する事項について説明しています。また、特殊なSAS 9.1.3の配置にSAS 9.1.3 Service Packを適用する場合についても説明しています。「付録」は、その他のセクションを参照中に必要に応じて利用してください。

SAS 9.1.3 Service Packのインストール後は、「適用後の手順」を必ず参照してください。

注意： SAS Financial Management ServerまたはSAS Strategic Performance Management Serverを実行しているマシン上に、SAS 9.1.3 Service Pack 1より後のService Packをインストールしないでください。Service PackのCDラベルには、どのレベルのService Packが含まれているのかが記載されているので、確認してください。

適用前の手順

SAS Service Packを適用する前に、下記に示す手順を実行してください。

1. z/OSユーザーの方は、「Third Party Software Downloads (<http://support.sas.com/thirdpartysupport>)」を参照し、適切なJREをダウンロードしてください。「Third Party Software Downloads」のWebページでは、「SAS 9.1.3 Service Pack 4」を、それから「Java Runtime Environments (JRE) for SAS 9.1.3 Foundation with Service Pack 4」を選択します。Webブラウザに表示される表からz/OSの行を探し、JREをダウンロードおよびインストールしてください。

2. 既存のSAS 9.1.3の配置がWebアプリケーションサーバー（WebLogic、WebSphere、Tomcatのいずれか）を含んでいる場合、次に示すURLのWebサイト（<http://support.sas.com/thirdpartysupport>）のサポート必要条件を参照し、SAS 9.1.3 Service Packをインストールする前に、Java開発キット（JDK：Java Development Kit）およびWebアプリケーションサーバーを、サポート必要条件が要求するバージョンにアップグレードしてください。
3. SASリッチクライアント、SASサーバー、SASサービス、Webサービスを含むすべてのSASソフトウェアを終了してください。すべてのプラットフォーム上のすべてのサーバーとサービスを停止してください（Windows環境の場合は、Webサイト<http://support.sas.com/techsup/unotes/SN/013/013834.html>のSAS Noteを参照してください。ここには、サービスの停止について詳細が記述されています）。
4. z/OSを除くすべてのプラットフォームで、既存のSASインストールのバックアップを作成してください。UNIXユーザーは、次のファイル（sasprefs、ssnprefs.xml、vpd.properties）のバックアップを作成したことを必ず確認してください。これらのファイルは、最初にSASをインストールした際のユーザーIDのホームディレクトリにあります。

Service Packの適用

バックアップを作成したら、下記の手順でService Packを適用してください。既存のSASソフトウェアデポに対して、Service Packのメディアを追加しないようにしてください。その代わりに、CDから直接Service Packをインストールするか、または選択した場所にCDをコピーしてそこからService Packをインストールしてください。新たに既存のSASソフトウェアデポからインストールする場合、最初にそのSASソフトウェアデポからインストールを行い、それから下記の手順でService Packを適用してください。

注意： 既存のインストールを更新する場合、既存のインストールをインストールした同じユーザーIDで、SAS 9.1.3 Service Packをインストールすることを強く推奨します。異なるアカウントでインストールすると、Service Packが更新するファイルやアプリケーションの場所を見つけられない事態を引き起こす場合があります。Windows Terminal Serverを使用する場合、既存のインストールとその後の更新において、同じアカウントを使用して行わなければなりません。

注意： すべてのCDを、インストールするマシン上で直接実行してください。ターミナルエミュレータを介して実行すると、正しく動作しない可能性があります。

SAS 9.1.3 Service Packのインストール中にエラーが発生したら、SAS Software Navigatorのログファイルを調べてください。SAS Software Navigatorのログファイルは、次の場所にあります。

Windows

C:\¥Documents and Settings¥<user name>¥SSN.log

UNIX

\$HOME/SSN.log

Windows (32-bit)

注意： Terminal Server上でSAS 9.1.3 Service Packをインストールする場合、インストールモードで行う必要があります。コマンドラインで「change user /install」コマンドを発行するか、自動的にインストールモードに移行するにはコントロールパネルの [アプリケーションの追加と削除] を使用します。インストールCDをCD-ROMドライブに挿入する前に、インストールモードに移行する必要があります。

SASインストールにミドル層またはクライアントSASソフトウェアを含んでいない場合、「SAS 9.1.3 Service Pack 4 Installer」CDをスキップし、「Service Pack 4 for SAS Foundation」CDのみを使用することによって、SAS Service Packを適用することができます。最初にどのCDを使用するかについての詳細は、SAS Note SN-015827 (<http://support.sas.com/techsup/notes/SN/015/015827.html>) を参照してください。

インストールしたすべてのSASプロダクトがSAS Note SN-015827のリストに含まれている場合、「Service Pack 4 for SAS Foundation」CDを使用してください。リストに含まれていないSASプロダクトをインストールしている場合、「SAS 9.1.3 Service Pack 4 Installer」CDを使用して、下記に説明する手順でService Packを適用してください。リストに含まれていないSASプロダクトがあり、「SAS 9.1.3 Service Pack 4 Installer」CDを使用しない場合、Javaベースのミドル層およびクライアントSASソフトウェアは更新されません。

1. 「SAS 9.1.3 Service Pack Installer」CDを挿入します。CDを挿入すると、自動再生が開始します。自動再生が開始しない場合、setup.exeをダブルクリックします。
2. Service Packインストーラを実行する言語を選択し、[OK] をクリックします。
3. Service Packインストーラのウィンドウに、インストールおよび構成するソフトウェアが表示されます。[Install] をクリックして、処理を続けます。

注意： 再起動を促すウィンドウが表示される場合があります。適宜選択して、[Finish] をクリックしてください。この場合、再起動後、「適用前の手順」の3番目の記述を参照して、すべてのサービスを停止します。再起動したら、Service Packインストーラを再度実行してインストールを続けてください。

4. SAS 9.1.3 Service Packのインストールでは、既存のインストールしたプロダクトによっては [Reconfigure] ウィンドウが表示される場合があります。このウィンドウが表示されたら、[Default configuration directory location] の下に可能な構成ディレクトリが表示されます。表示されたリストから構成ディレクトリを選択するか、または [Alternate configuration directory location] をクリックし、既存のインストールの構成ディレクトリを選択します。構成ディレクトリを選択したら、[Reconfigure] をクリックします。構成ディレクトリの設定が終了したら、確認するウィンドウが表示されます。[OK] をクリックすると、[Reconfigure] ウィンドウが再度前面に表示されます。この手順を、構成ディレクトリの数だけ繰り返します（ウィンドウに表示されている使用可能な構成ディレクトリの数は、この手順を何回繰り返すべきかを示す指標になります）。すべての構成ディレクトリを設定したら、[Done] をクリックしてインストールを終了します。

SAS 9.1.3 Service Packのインストールが終了したら、SASを実行しているその他すべてのマシン上で同様にSAS 9.1.3 Service Packをインストールします。すべての修正を、そ

れらを必要とするソフトウェアに適用するには、更新するマシンのプラットフォーム別の指示に従う必要があります。

注意： サーバーイメージを持つWindowsユーザーは、同様にそのサーバーイメージを更新する必要があります。サーバーイメージを更新する手順の詳細は、21ページの「付録B：SAS 9.1.3 Service Packの適用による32-bit Windows上のSASイメージのアップグレード」を参照してください。

UNIX

注意： 既存のインストールの仕方によっては、Service Packのインストール中に、rootパスワードが必要な場合もあります。SAS社は、Service Packを適用する前に、rootパスワードを確認しておくことを推奨します。

SASインストールにミドル層またはクライアントSASソフトウェアを含んでいない場合、「SAS 9.1.3 Service Pack 4 Installer」CDをスキップし、「Service Pack 4 for SAS Foundation」CDのみを使用して、SAS Service Packを適用することができます。最初にどのCDを使用するかについての詳細は、SAS Note SN-015827 (<http://support.sas.com/techsup/unotes/SN/015/015827.html>) を参照してください（英語による提供になります）。

インストールしたすべてのSASプロダクトがSAS Note SN-015827のリストに含まれている場合、「Service Pack 4 for SAS Foundation」CDを使用してください。リストに含まれていないSASプロダクトをインストールしている場合、「SAS 9.1.3 Service Pack 4 Installer」CDを使用して、下記に説明する手順でService Packを適用してください。リストに含まれていないSASプロダクトがあり、「SAS 9.1.3 Service Pack 4 Installer」CDを使用しない場合、Javaベースのミドル層およびクライアントSASソフトウェアは更新されません。

1. SASソフトウェアがインストールされているマシンで、「SAS 9.1.3 Service Pack Installer」CDをCD-ROMドライブに挿入し、マウントします。Solaris上のvoldプロセスのような自動マウントプログラムを実行している場合、CDは自動的にマウントされます。その他の場合は、手動でCDをマウントする必要があります。UNIX環境で、手動でCDをマウントするには、root権限が必要です。CDをマウントする前に、rootでログインしてください。

```
$ su root
```

連装型CD-ROMドライブを使用していない場合、マウントとアンマウントを繰り返す必要があります。そのため、SAS Service Pack Installerを実行している間、マウントとアンマウントのために、rootユーザーIDで別のウィンドウを開いておくことを推奨します。

UNIXのマウントコマンドは、次のとおりです。

```
# mount [options] device mount_point
```

[options]はオペレーティングシステムの有効なマウントオプション、deviceはデバイス名、mount_pointはマウントポイントとして使用するディレクトリを指定します。

次に、サポートしている各UNIXシステムにおけるマウントコマンドの例を示します。デバイス名は仮のデバイス名です。実際のデバイス名に置き換えて指定してください。これ

らの例では、マウントポイントは/mnt/cdromであると仮定しています。その他のディレクトリを指定することもできます。

AIX

```
# mount -r -v cdrfs /dev/cd0 /mnt/cdrom
```

HP-UXとHP-UX (Itanium)

```
# mount -F cdfs -o rr,ro /dev/dsk/c0t0d0 /mnt/cdrom
```

Linux (Intelアーキテクチャ)、Linux (Itanium)

```
# mount -r /dev/cd0 /mnt/cdrom
```

SolarisおよびSolaris for x64

```
# mount -r -F hsfs /dev/cd0 /mnt/cdrom
```

Tru64 UNIX

```
# mount -rt cdfs -o noversion,rrip /dev/cd0 /mnt/cdrom
```

2. CDをマウントしたら、setup.shを実行します。
3. Service Packインストーラを実行する言語を選択し、[OK] をクリックします。
4. 自動再生が開始したら、更新されるプロダクトが表示されます。Service Packはシステムを調査し、その情報に基づいて更新を適用します。
5. SAS 9.1.3 Service Packのインストールでは、既存のインストールしたプロダクトによっては [Reconfigure] ウィンドウが表示される場合があります。このウィンドウが表示されたら、[Default configuration directory location] の下に可能な構成ディレクトリが表示されます。表示されたリストから構成ディレクトリを選択するか、または [Alternate configuration directory location] をクリックし、既存のインストールの構成ディレクトリを選択します。構成ディレクトリを選択したら、[Reconfigure] をクリックします。構成ディレクトリの設定が終了したら、確認するウィンドウが表示されます。[OK] をクリックすると、[Reconfigure] ウィンドウが再度前面に表示されます。この手順を、構成ディレクトリの数だけ繰り返します（ウィンドウに表示されている使用可能な構成ディレクトリの数は、この手順を何回繰り返すべきかを示す指標になります）。すべての構成ディレクトリを設定したら、[Done] をクリックしてインストールを終了します。
6. Service Pack 4から、ユーザー認証に使用するメンテナンスファイルの場所が、Service Packによるアップグレードを改善するために変更されました。このService Packを使用すると、次の3つのファイル (sasauth、sasperm、elssrv) のいずれかでメンテナンスが必要な場合、これらは !SASROOT/utilities/binではなく、新しいディレクトリである!SASROOT/utilities/bin/setuidにアーカイブして、直接送られます。特にService Pack 4では、elssrvおよびsasauthにメンテナンスが必要であり、これらのファイルのみが新しいディレクトリに送られることに注意してください。新規インストールでUNIX Foundationインストーラを使用する場合、インストール後の処理においてrootuidパスワードを使用することにより、通常のインストール後の処理の一部としてユーザー認証を構成することもでき

ます。ファイルが一旦移動されると、現在新しいsetuidディレクトリにあるファイルはutilities/binディレクトリに、それからsetuidルートに移動します。ユーザーは、後からSAS セットアップ (sassetup) の [Run Setup Utilities] を選択することによって、この構成の実行を選択できます。詳細は、『UNIX版 SAS 9.1.3 Foundation インストールガイド』の第2章の「ユーザー認証の設定」を参照してください。

7. SAS 9.1.3 Service Packのインストールが終了したら、SASを実行しているその他すべてのマシン上で同様にSAS 9.1.3 Service Packをインストールします。すべての修正を、それらに必要とするソフトウェアに適用するには、更新するマシンのプラットフォーム別の指示に従う必要があります。

64-bit Windows (Itanium)

64-bit Microsoft Windows (Itanium) 版においては、Service PackはSAS Foundationのインストーラとともに提供されます。SAS 9.1.3がすでにインストールされている場合、インストーラは既存のインストールが存在することを察知してService Packを適用します。プロダクトを追加する場合は、Service Pack適用後、再度SAS Foundationのインストーラを起動してください。

サーバーインストール

注意： SAS 9.1.3をCDからではなくネットワーク上のイメージからインストールしている場合、ネットワーク上にイメージを作成して、そのイメージからService Packをインストールする必要があります。SAS 9.1.3をCDからインストールしている場合、Service PackをインストールするのにCDまたはネットワーク上のイメージのどちらも使用することができます。

1. SAS 9.1.3をCDから直接インストールしている場合、「SAS 9.1.3 Setup Disk」CDをCD-ROMドライブに挿入します。CDを挿入すると、自動再生が開始します。自動再生が開始しない場合、CDのルートディレクトリにあるsetup.exeをダブルクリックします。次に、手順4を実行してください。既存のインストールをネットワークイメージから行っている、または新しいネットワークイメージを作成する場合は、手順1に進んでください。
2. ユーザーがインストールできるネットワークイメージを作成するには、「SAS Setup Disk」、「SAS Software Disk」、「SAS Shared Component」CD（パッケージに含まれていたら「SAS/SECURE」CDも）をネットワーク上に作成した同じディレクトリにコピーします。たとえば、インストール可能なSASイメージをC:\sas9.1\installに作成するとします。CDドライブがDである場合、各SAS SystemのCDに対して、コマンドプロンプトまたは [スタート] - [ファイル名を指定して実行] から次のコマンドを発行します。

```
xcopy /s D:\%*. * C:\sas9.1\install
```

CD-ROMドライブにCDを挿入時に自動再生が起動した場合、そのウィンドウを閉じてください。

注意： 「SAS/SECURE」CDからネットワークイメージにコピーする場合、sas\securwin1.cabファイルだけをコピーします。CDからその他のファイルもコピーすると、自動再生が正しく動作しません。

3. ネットワーク上のイメージのルートディレクトリで、setup.exeを実行します。上記の例では、次のコマンドを発行します。

```
C:\sas9.1\install\setup.exe
```

4. インストールで使用する言語を選択したら、[OK] をクリックします。[End User Steps] の下の [2. Install SAS Software] を選択します。
5. すでにSAS 9.1.3がインストールされている場合、[Updating SAS Foundation] ウィンドウが表示されます。[Next] をクリックして、処理を続けます。
6. [SAS Setup Complete] ウィンドウが表示されたら、[Finish] をクリックして終了します。プロダクトを追加する場合、再度setup.exeをダブルクリックします。
7. SAS 9.1.3 Service Packのインストールが終了したら、SASを実行しているその他すべてのマシン上で同様にSAS 9.1.3 Service Packをインストールします。すべての修正を、それらが必要とするソフトウェアに適用するには、更新するマシンのプラットフォーム別の指示に従う必要があります。

ミドル層およびクライアントインストール

1. 「SAS 9.1.3 Service Pack Installer」CDを挿入します。CDを挿入すると、自動再生が開始します。自動再生が開始しない場合、CDのルートディレクトリにあるsetup.exeをダブルクリックします。次のエラーメッセージ「Error: Change User ID」が表示される場合、SAS Service Packのインストーラが既存のSASのインストールを見つけることができなかったことを意味しています。このエラーは、Base SAS自体をインストールしていない場合、インストーラがマシン上にSASソフトウェアを確認できないことによります。正しいユーザーIDでログインしている場合、[No] を選択してインストールを続行してください（詳細は、<http://support.sas.com/techsup/unotes/SN/014/014976.html>を参照してください）。
2. インストール中は、表示される指示に従ってください。終了を示すダイアログが表示されたら、[Finish] をクリックして更新を終了します。プロダクトを追加する場合、再度setup.exeをダブルクリックします。
3. SAS 9.1.3 Service Packのインストールでは、既存のインストールしたプロダクトによっては[Reconfigure] ウィンドウが表示される場合があります。このウィンドウが表示されたら、[Default configuration directory location] の下に可能な構成ディレクトリが表示されます。表示されたリストから構成ディレクトリを選択するか、または[Alternate configuration directory location] をクリックし、既存のインストールの構成ディレクトリを選択します（以前のインストールで構成ディレクトリを作成していない場合、[Done] をクリックします）。構成ディレクトリを選択したら、[Reconfigure] をクリックします。構成ディレクトリの設定が終了したら、確認するウィンドウが表示されます。[OK] をクリックすると、[Reconfigure] ウィンドウが再度前面に表示されます。この手順を、構成ディレクトリの数だけ繰り返します（ウィンドウに表示されている使用可能な構成ディレクトリの数は、この手順を何回繰り返すべきかを示す指標になります）。すべての構成ディレクトリを設定したら、[Done] をクリックしてインストールを終了します。
4. SAS 9.1.3 Service Packのインストールが終了したら、SASを実行しているその他すべてのマシン上で同様にSAS 9.1.3 Service Packをインストールします。すべての修正を、それら

を必要とするソフトウェアに適用するには、更新するマシンのプラットフォーム別の指示に従う必要があります。Service Packを配置全体にインストールしたら、サーバーとサービスを再起動してください。ミドル層を更新する場合、WebアプリケーションサーバーへWebアプリケーションを再配置する必要があります。

OpenVMS Alpha

1. 「SAS 9.1.3 Service Pack 4 for SAS Foundation」CDを挿入します。下記のコマンドでCDをマウントします。

```
$ MOUNT/OVER=ID/MEDIA=CDROM/UNDEF=(STREAM_LF:0) cd-rom
```

この例では、cd-romは、実際に使用しているCD-ROMドライブのデバイス名を表します。マウントしたら、次のコマンドで起動します。

```
$ MCR cd-rom:[000000]SASSETUP.EXE
```

cd-romは、実際に使用しているCD-ROMドライブのデバイス名を表します。

2. インストーラが起動したら、[Primary Menu] が表示されます。[Update an Existing Installation] を選択してください。
3. ターゲットディレクトリとして更新するSAS 9.1.3 Foundationのディレクトリを指定すると、[Load Software Menu] が表示されます。[Load Service Pack Software Only] を選択してください。Service Packは、ターゲットディレクトリとして指定されたSAS 9.1.3 Foundationのイメージを調査し、その情報に基づいてインストールされているプロダクトに更新を適用します。
4. SAS 9.1.3 Service Packのインストールが終了したら、SASを実行しているその他すべてのマシン上で同様にSAS 9.1.3 Service Packをインストールします。すべての修正を、それらを必要とするソフトウェアに適用するには、更新するマシンのプラットフォーム別の指示に従う必要があります。

z/OS

以下に説明するように、更新は、Action B、Action C（およびAction D）を使用して、「SAS 9.1.3 Service Pack 4 for SAS Foundation」CDまたはバッチ方式によって行うことができます。

注意： Action B、C、Dを使用してService Packをインストールすることは、新しいプロダクトをインストールするのに使用する同じアクション（Action）とは少し異なります。Action Cを使用してService Packをインストールする場合、ステージライブラリでそのアップグレードを使用する新しいPROCとCLISTを自動的に作成します。PROCとCLISTは、新しく作成された&prefix.CNTLデータセットにあります。CLISTの名前はCLSTで始まり、PROCの名前はPROCで始まります。

Service PackをSAS Intelligence Platformにステージインストール（Action C）として適用する場合、Service Packを適用するのに必要な変更点についてSAS Note SN-014524を参照してください。

Service Packのインストール手順は、次の場所にあります。

- SASインストールセンター (SAS Install Center) 上
 - Webブラウザで、<http://support.sas.com/documentation/installcenter/913/kit/index.html>を表示します。
 - 「SAS 9.1.3 (TS1M3)」 の下の「Basic Installation Edition Kit」をクリックします。
 - [Installation] の下の「Installation Instructions--SAS 9.1.3 Foundation for z/OS」をクリックすると、PDF版のドキュメントが表示されます。
 - 「Chapter5 - Installing a SAS Service Pack Using the z/OS Service Pack Installer」または「Chapter6 - Installing a SAS Service Pack (Traditional Batch Method)」の適切な方を参照します。
- Service Packフォルダに含まれている「SAS 9.1.3 Service Pack 4 for SAS Foundation」CD上 ([Help Topic] ダイアログで、 [Help Using the Installation Dialogs] を選択すると、画面上にService Packのインストール手順のPDF版が表示されます)

ステージライブラリのプロダクションへのコピー

Service Packのみのメディアで推奨されているAction Cを実行した場合、最終的にこれらのステージライブラリをプロダクションへコピーすることになります。『Installation Instructions for SAS 9.1.3 Foundation for z/OS』の「Action D : Copy a Service Pack from Staging SAS Libraries to Existing SAS Libraries」を参照してください。

Service PackにはHFSへの更新が含まれています。以前にHFSをロードしている場合、これらの更新をアンロードするのにUSSUNTARジョブを実行する必要があります。

インストール後の手順

Service Packを適用してSASのインストールを以前のレベルから新しいレベルにアップグレードした場合、かつDEFAULT OPTIONS TABLEを変更したSASシステムオプションを使用している場合、BAOPTS1ユーティリティを実行してこのテーブルを再度変更する必要があります。

PGM=SASXALでLPAからSASを実行している場合、Service Packの適用後にLPAをリフレッシュする必要があります。

Service Packの検証

Service Packのインストール後、SASを起動すると、SASLOGにService Pack levelが表示されます。

検証後

SAS 9.1.3 Service Packのインストールが終了したら、SASを実行しているその他すべてのマシン上で同様にSAS 9.1.3 Service Packをインストールします。すべての修正を、それらを必要とするソフトウェアに適用するには、更新するマシンのプラットフォーム別の指示に従う必要があります。

適用後の手順

SAS Service Packを適用後に、下記に示す手順を実行してください。

注意： 既存のSASソフトウェアを配置した各マシンに対してSAS 9.1.3 Service Packの適用を終了するまで、これらの手順を実行しないようにしてください。

1. SAS Metadata Serverおよびその他のSASサーバーを再起動します。しかし、再構成が完了するまで、その他のWeb層のサーバーおよびサービスは再起動しないでください。
2. ミドル層またはクライアント層にService Packを適用したら、Service Packが適切に適用されているかを確認してください。確認方法の詳細は、13ページの「付録A：ミドル層またはクライアントデスクトップにおけるSAS Service Packの確認」を参照してください。
3. 下記のプロダクトの構成手順を完了してください。SAS Service Packを適用する際に、すでにこれらのプロダクトが少なくとも1つインストールされている場合、詳細は、Service Packフォルダに含まれている『SAS 9.1.3 Service Packにおける手動による構成手順（SAS 9.1.3 Service Pack Configuration Instructions）』を参照してください。

- SAS/ACCESS Interface to ODBC（UNIXユーザーのみ）
- SAS/ACCESS Interface to MySQL（UNIXユーザーのみ）
- SAS/ACCESS Interface to Sybase（AIXユーザーのみ）
- SAS Enterprise Miner
- SAS Information Delivery Portal
- SAS/IntrNet
- SAS Marketing Automation
- SAS Marketing Optimization（リリース4.1のみ）
- SAS Metadata Server
- SAS OnlineDoc for the Web
- SAS OpRisk VaR
- SAS Remote Help for z/OS
- SAS Sourcing Data Quality
- SAS Sourcing Strategy
- SAS Spend Analysis
- SAS Web Infrastructure Kit

4. SAS Service Packで更新したSAS Webアプリケーションがある場合、WebアプリケーションをWebアプリケーションサーバーに再配置する必要があります。

既存のインストールでSAS構成ウィザードを使用している場合、.warおよび.earファイルは、各プロダクトのインストール場所に再度作成されます。その新しい.warおよび.earファイルは、構成ディレクトリのステージインストールの場所 <configuration-directory>/Lev1/web/webappsにコピーされます。さらに、explodedディレクトリが存在する場合、.warおよび.earファイルは<configuration-directory>/Lev1/web/webapps/explodedに展開されます。

ステージインストールの場所から直接Webアプリケーションの再配置を選択できます。しかし、SAS社では、この場所からこれらのファイルを、使用しているサイトのWebアプリケーションの一般的な配置場所にコピーすることを推奨します。たとえば、Tomcatでは一般的に次の手順を実行します。

- a. <tomcat>%webappsから、既存のwarファイルおよびフォルダを削除します。

注意： これらのファイルを削除すると、Service Packを適用する前に行っていたカスタマイズ（JSPファイルで記述しているカスタマイズした入力ページなど）は、削除されます。したがって、削除する前に、カスタマイズしたファイルのバックアップを作成したことを確認してください。

- b. <tomcat>%work%standalone%localhostディレクトリから、同じ名前のwarファイルを削除します（そのファイルが存在する場合）。
- c. 新しいwarファイルを、<tomcat>%webappsへディレクトリにコピーします。

既存のインストールでSAS構成ウィザードを使用していない場合、各プロダクトの適切な.warおよび.earファイルを再ビルドし、既存のインストールで使用した同じ方法で個々に再配置する必要があります。

5. SAS 9.1.3 Service Pack 2を適用するにあたって、SAS Subscription Manager 1.5を含むインストールを行ったユーザーは、このソフトウェアを最新版にアップグレードすべきです。SAS Subscription Manager 1.5をインストールしているかどうか判断するには、次のディレクトリを確認します。

- Windows: SASHOME%SASSubMgr%1.5
- UNIX: SASHOME%SASSubMgr%1.5

SASHOMEは、SASソフトウェアをインストールしたルートディレクトリを示しています。

このディレクトリが存在しない場合、インストールしていないので、その後の手順は必要ありません。このディレクトリが存在している場合、SAS Subscription Manager 1.5を再インストールしてください。そうすることにより、以前のインストールが上書きインストールでアップグレードされます。SAS Subscription Manager 1.5は、SAS 9.1.3 Service Packにある「SAS Client-Side Components」CDに含まれています。

テクニカルサポート

テクニカルサポートに電話で問い合わせる前に、次の Web サイト (<http://support.sas.com/techsup/>) に掲載されている情報をご覧ください。SASテクニカルサポートのWebサイトには、FAQ（よく寄せられる質問）、テクニカルサポートドキュメント、その他の情報が掲載されているので、そこから回答が得られる場合があります。問題点の問い合わせ方法も掲載されています。SAS社は、その他にもテクニカルサポートに寄せられた問題や質問の解決を支援する電子的サービスを提供しています。これらの電子的サービスは、24時間年中無休でご利用できます。

日本のユーザーは、SAS Institute Japan株式会社のテクニカルサポートにお問い合わせください。電話番号は、03（6434）3680（月曜から金曜）です。

日本以外のユーザーは、各国の最寄りの支店にお電話ください。営業時間は支店によって異なる場合があります。支店の連絡先は、<http://www.sas.com/offices/asiapacific/japan/corporate/index2.html>を参照してください。

付録A：ミドル層またはクライアントデスクトップにおける SAS Service Packの確認

ミドル層またはクライアント層にSAS 9.1.3 Service Packを適用したら、正しく適用されていることを確認してください。この作業を行うには、Service Packに含まれているプロダクトごとのキーファイルが更新されているかを確認します。下記の各プロダクトの項目には、キーファイル名、日付、デフォルトの場所を載せてあります。Service Packが正しく適用されているかを確認するには、各プロダクトのキーファイルの日付が、下記に示す一覧の日付に更新されているかを調べます。

Service Packの更新は、vpd.propertiesというファイルに含まれるデータに基づいて行われることに注意してください。このファイルに対して、削除、変更、ファイル名の変更などを行いService Packのインストーラがこのファイルを確認できない場合、プロダクトは更新されません。したがって、将来のService Packでプロダクトを更新できるように、いかなる方法でも削除、移動、変更を行わないでください。

Service Packの適用後に各プロダクトのキーファイルが更新されていない場合、テクニカルサポートまでお問い合わせください。

- **SAS Analytics Platform**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASAPCore¥lib

- **SAS BI Web Services for Java**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥Web¥WebServicesforJava¥1.0¥SASXMLA¥WEB-INF¥lib

- **SAS Campaign Studio**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASMarketingAutomation¥4.1

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Campaign Studioのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、バージョン番号が4.3であると確認したりリリースのみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。バージョン番号は、[Help] - [About] を選択して確認できます。最新版のSAS Campaign Studioを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Credit Risk Management Mid-Tier**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASCreditRiskManagement¥4.1¥webapps¥criskm¥WEB-INF¥lib

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Credit Risk Management Mid-Tierのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、SASHOME¥SASCreditRiskManagement¥4.1¥webapps¥criskm¥WEB-INF¥class¥com¥sas¥ets¥creditriskにあるCreditRiskSession.classの日時が3/9/2005であるリリース4.1のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Credit Risk Management Mid-Tierを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS ETL Studio (SAS Data Integration Studio)**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASETLStudio¥9.1

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS ETL Studio (SAS Data Integration Studio) 3.3のすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、ビルド番号が9.1.20050810.21015であると確認したリリースのみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。ビルド番号は、[Help] - [About] を選択して確認できます。最新版のSAS ETL Studio (SAS Data Integration Studio) を必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Data Integration Studio 3.3のインストールを必ずしも更新しません。SAS Data Integration Studio 3.3の更新方法については、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Drivers for JDBC and SAS/CONNECT**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASDriversforJDBCCandCONNECT¥9.1

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS JDBC and CONNECT Driversのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、ビルド番号が3.1.3.2.20050622.59195であると確認したリリースのみ更新します。インストールが上記の日時と一致しない場合、テクニカルサポートのWebサイトの「Demo & Download」から、「SAS Drivers for JDBC」を選択し、更新プログラムをダウンロードして実行してください。詳細は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS E-mail Marketing**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASEmailMarketing¥2.1¥lib

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS E-mail Marketingのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、バージョン番号が2.1であると確認したリリースのみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。バージョン番号は、[Help] - [About] を選択して

確認できます。最新版のSAS E-mail Marketingを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Enterprise Miner Java Client**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASAPCore¥apps¥EnterpriseMiner¥webapps¥sasmr¥WEB-INF¥lib

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Web Analyticsのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、バージョン番号が5.2.0.20050929.22025であると確認したリリースのみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。バージョン番号は、[Help] - [About] を選択して確認できます。最新版のSAS Web Analyticsを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Forecast Server Mid-Tier**

キーファイル : sas.graph.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASAPCore¥apps¥Forecasting¥webstart

- **SAS Forecast Studio**

キーファイル : sas.svc.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASForecastStudio¥1.2

- **SAS Foundation Services**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASFoundationServices¥1.1¥jars

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Foundation Servicesのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、バージョン番号が1.2.0.0.20050720.73229であると確認したリリースのみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。バージョン番号は、SAS管理コンソールを起動し、[BIマネージャ] ノードでポップアップメニューを開き、[BIマネージャのバージョン情報] を選択することにより確認できます。[BIマネージャ] ノードがない場合、Service Packを適用してもSAS Foundation Servicesは更新されません。最新版のSAS Foundation Servicesを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS/GRAPH Java Applets**

キーファイル : sas.graph.constapp.jar

日時 : 2/10/2006.

デフォルトの場所 (Windows) : SHAREDFILES¥applets¥9.1

デフォルトの場所 (UNIX) : SASHOME¥SAS_9.1¥misc¥applets

- **SAS Information Delivery Portal**

キーファイル : sas.packageviewer.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥Web¥Portal2.0.1¥Portal¥WEB-INF¥lib

- **SAS Inventory Policy Studio**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASInventoryPolicyStudio¥1.2

- **SAS IT Service Level Management Client**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASITServiceLevelManagement¥2.1

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS IT Service Level ManagementIT Service Levelのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、バージョン番号が2.1.20050809であると確認したリリースのみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。バージョン番号は、[Help] - [About] を選択して確認できます。最新版のSAS IT Service Level Managementを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Java Metadata Interface**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥JavaMetadataInterface¥9.1

- **SAS Management Console**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASManagementConsole¥9.1

- **SAS Marketing Automation Application Server**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASMarketingAutomationCore¥4.1¥ear

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Marketing Automation Application Serverのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、SASHOME¥SASMarketingAutomationCore¥4.1にあるsas.analytics.ccm.ma.javaconf.jarの日時が8/24/2005であると確認したリリース4.3のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Marketing Automation Application Serverを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Marketing Automation Export Adapters**

キーファイル : sas.email.broadcast.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASMarketingAutomation¥MAExportAdapters¥4.1

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Marketing Automation Export Adaptersのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるsas.analytics.crm.ma.adapter.jarの日時が8/24/2005であると確認したりリリース4.3のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Marketing Automation Export Adaptersを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Marketing Automation Integration Utilities**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASMarketingAutomation¥MAIntegration¥4.1

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Marketing Automation Integration Utilitiesのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるsas.analytics.crm.auxdataio.jarの日時が8/24/2005であると確認したりリリース4.3のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Marketing Automation Integration Utilitiesを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Marketing Automation Launcher**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASMarketingAutomation¥Launcher¥4.1

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Marketing Automation Launcherのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるsas.analytics.crm.ma.launcher.jarの日時が8/24/2005であると確認したりリリース4.3のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Marketing Automation Launcherを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Marketing Automation Web Components**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所：SASHOME¥SASMarketingAutomationWeb¥4.1¥war¥WEB-INF¥lib

注意： SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Marketing Automation Web Componentsのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるsas.analytics.crm.ma.webapp.jarの日時が8/24/2005であると確認したりリリース4.3のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Marketing Automation Web Componentsを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Marketing Optimization Client**

キーファイル：sas.core.jar

日時：2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASMarketingOptimization¥4.3

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Marketing Optimization Clientのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、バージョン番号が4.3であると確認したリリースのみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。バージョン番号は、[Help] - [About]を選択して確認できます。最新版のSAS Marketing Automation Optimization Clientを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Marketing Optimization Plug-ins for SAS Management Console**

キーファイル : sas.graph.bip.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASManagementConsole¥9.1¥plugins

- **SAS OLAP Cube Studio**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASOLAPCubeStudio¥9.1

- **SAS OLAP Server Monitor for SAS Management Console**

キーファイル : sas.smc.olapadmin.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASManagementConsole¥9.1¥plugins

- **SAS OnlineDoc for the Web**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥Documentation¥9.1

- **SAS Personal Login Manager**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASPersonalLoginManager¥9.1

- **SAS Remote Help for z/OS**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥Documentation¥9.1

- **SAS Risk Dimensions Java Client**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥Risk¥JavaClient¥4.1¥jars

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Risk Dimensions Java Clientのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、バージョン番号が4.2.1 (ビルド20050991246) であると確認したリリースのみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。バージョン番号は、[Help] - [About]を選択して確認できます。最新版の SAS Risk

Dimensions Java Clientを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS/SECURE Java Component**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASSecureJava¥1.3.1

- **SAS Sourcing Data Quality Mid-Tier**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASSourcingDataQuality¥3.5¥CommodityClassification¥sas.solutions.sdq.core¥WEB-INF¥lib

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Sourcing Data Quality Mid-Tierのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるsas.solutions.sdq.core.jarの日時が8/10/2005であると確認したりリリース3.5のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Sourcing Data Quality Mid-Tierを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Sourcing Strategy**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASSupplierRelationshipManagement¥3.5¥Optimization¥ sas.solutions.srm.optimization¥WEB-INF¥lib

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Sourcing Strategyのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるsas.solutions.srm.optimization.jarの日時が8/10/2005であると確認したりリリース3.5のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Sourcing Strategyを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Spend Analysis Mid-Tier**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASSupplierRelationshipManagement¥3.5¥SpendAnalysis¥sas.solutions.srm.spendanalysis¥WEB-INF¥lib

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Spend Analysis Mid-Tierのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるsas.solutions.srm.spendanalysis.jarの日時が8/10/2005であると確認したりリリース3.5のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Spend Analysis Mid-Tierを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS/STAT Power and Sample Size**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥PSS¥2.0

- **SAS Supplier Relationship Management Ranking Mid-Tier**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASSupplierRelationshipManagement¥3.5¥Ranking¥sas.solutions.srm.ranking¥WEB-INF¥lib

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Supplier Relationship Management Ranking Mid-Tierのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるsas.solutions.srm.ranking.jarの日時が8/10/2005であると確認したりリリース3.5のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Supplier Relationship Management Ranking Mid-Tierを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Web Analytics**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥SASWebAnalytics¥5.2¥SASWebAnalytics¥WEB-INF¥lib

注意 : SAS 9.1.3 Service Packは、SAS Web Analyticsのすべてのインストールを必ずしも更新しません。SAS Service Packは、上記のデフォルトの場所にあるwebanalytics.jarの日時が9/21/2005であると確認したりリリース5.2のみ更新します。その他のビルド番号のリリースでは、このキーファイルの情報を無視します。最新版のSAS Web Analyticsを必要とする場合は、SASテクニカルサポートにお問い合わせください。

- **SAS Web Infrastructure Kit**

キーファイル : sas.core.jar

日時 : 2/10/2006

デフォルトの場所 : SASHOME¥Web¥Portal2.0.1¥Portal¥WEB-INF¥lib

付録B : SAS 9.1.3 Service Packの適用による32-bit Windows 上のSASイメージのアップグレード

ここでは、次のタスクを実行する方法について解説しています。

- クライアントサーバーとクライアントのアップグレード
- パーソナルサーバーのアップグレード
- 配置用のアップグレードされたSASイメージからService Packのインストールを実行
- 配置用のアップグレードされたSASイメージから新規インストールを実行
- サイレントモードによるService Packの配置

下記の各項目でこれらの方法について解説しています。

クライアントサーバーイメージとクライアントのアップグレード

クライアントサーバーイメージのアップグレード

1. 「Service Pack 4 for SAS Foundation」CDをCD-ROMドライブに挿入します。[Software Installation] ウィンドウが表示されます。起動しない場合、[スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択し、テキストボックスに「x:\%setup.exe」を入力します。xはCD-ROMドライブのドライブ名です。インストールで使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。
2. [Administrator Steps] の下から [Apply SAS 9.1.3 Service Pack to update a SAS image for deployment] を選択します。Service Packを適用するために、SAS管理者ウィザードが起動します。[Next] をクリックします。
3. [End User Type] ウィンドウが表示されます。[Client Users] および [Next] を選択します。
4. [Network Location] ウィンドウが表示されます。クライアントサーバーイメージのためのネットワークディレクトリのフォルダを入力してください。この場所の指定は、SAS管理者ウィザードがクライアントサーバーイメージをテストし、既存のイメージにService Packを正確に適用するのに必要です。必要なら [Browse] を選択して場所を変更します。問題なければ [Next] をクリックします。

不正確な場所を入力したら、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
Software Update Required:
The selected location does not contain a valid version of SAS
to upgrade.Click Yes to provide a valid location and continue
this installation
or, click No to exit SAS Setup.
```

5. 有効な場所を入力したら、[Service Pack] ウィンドウが開き次のように表示します。

```
Your existing SAS 9.1.3 software requires Service Pack 4. If
you would like to apply the service pack, click Yes to Continue.
Or, click No to exit SAS Setup.
```

[Yes] をクリックして、処理を続けます。

6. [Start Copying Files] ウィンドウが表示されます。[Next] をクリックして、処理を続けます。
7. ネットワークイメージを作成してある場合、[SAS Administrator Wizard Complete] ウィンドウが表示されます。[Finish] をクリックして、インストールを終了します。

クライアントサーバーイメージからクライアントをアップグレード

クライアントサーバーイメージからクライアントを更新するには、クライアントサーバーから特定のセットアップを実行してService Packを適用する必要があります。詳細は、『Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundation 管理者ガイド』を参照してください。

注意： Quietモードによるクライアントの配置はSAS 9.1.3と同じですが、新しいQuietファイルを記録する必要はありません。既存のQuietファイルがそのまま使用できます。

パーソナルサーバーイメージのアップグレード

1. 「Service Pack 4 for SAS Foundation」CDをCD-ROMドライブに挿入します。[Software Installation] ウィンドウが表示されます。起動しない場合、[スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択し、テキストボックスに「x:\%setup.exe」を入力します。xはCD-ROMドライブのドライブ名です。インストールで使用する言語を選択し、[OK] をクリックします。
2. [Administrator Steps] の下から [Apply SAS 9.1.3 Service Pack to update a SAS image for deployment] を選択します。Service Packを適用するために、SAS管理者ウィザードが起動します。[Next] をクリックします。
3. [End User Type] ウィンドウが表示されます。[Personal Users] および [Next] を選択します。
4. [Network Location] ウィンドウが表示されます。パーソナルサーバーイメージのためのネットワークディレクトリのフォルダを入力してください。この場所の指定は、SAS管理者ウィザードがパーソナルサーバーイメージをテストし、既存のイメージにService Packを正確に適用するのに必要です。正しい場所が指定されている場合は、記述されたディレクトリにDisk1が含まれています。必要なら [Browse] を選択して場所を変更します。問題なければ [Next] をクリックします。

不正確な場所を入力したら、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
Software Update Required:
The selected location does not contain a valid version of SAS
to upgrade.Click Yes to provide a valid location and continue
this installation
or, click No to exit SAS Setup.
```

5. 有効な場所を入力したら、[Service Pack] ウィンドウが開き次のように表示します。

```
Your existing SAS 9.1.3 software requires Service Pack 4. If
you would like to apply the service pack, click Yes to Continue.
```

Or, click No to exit SAS Setup.

[Yes] をクリックして、処理を続けます。

6. [Start Copying Files] ウィンドウが表示されます。[Next] をクリックして、処理を続けます。
7. ネットワークイメージを作成してある場合、[SAS Administrator Wizard Complete] ウィンドウが表示されます。[Finish] をクリックして、インストールを終了します。

配置用のアップグレードされたSASイメージから新規インストールを実行

パーソナルサーバーにService Packを適用した後、そこからSAS9.1.3がインストールされていないマシンに対してフルインストールを実行することができます。フルインストールを行うことにより、Service Packも自動的に適用されます。個別にService Packをインストールする必要はありません。

SAS 9.1.3と同様に、disk1からインストールプロセスを開始してください。詳細は、『Microsoft Windows版SAS 9.1.3 Foundation 管理者ガイド』を参照してください。

パーソナルインストールのためのサイレントモードによるService Packの配置

Service Packは、Quietファイルまたはサイレント応答ファイルを記録することなく、サイレントインストールができます。また、Service Packは、Service Packのメディアまたはネットワーク経由のどちらからでもサイレントインストールができます。

Service Packをインストールする前に、SAS Private JRE 1.4.2_09を最初にインストールしなければなりません。SAS Private JRE 1.4.2_09もサイレントインストールができます。

「Service Pack 4 for SAS Foundation」CDから、またはCDの内容をコピーした場所からネットワーク経由で、「setup.exe」に「-silent」スイッチを付けて起動することにより、SAS Private JRE 1.4.2_09のインストールを実行します。下記に例を示します。

```
d:¥updins¥srw¥bundles¥sasjre¥setup.exe -silent
```

d:はCD-ROMドライブまたはネットワークドライブを表します。

Service Packのメディアから、またはネットワーク経由でService Packをサイレントインストールするには、「Service Pack 4 for SAS Foundation」CDのsasフォルダから、次に示すにコマンドラインオプションを付けて「setup.exe」を実行します。

```
"sas¥setup.exe" /s /f2"<location of the silent setup log>"
```

CD-ROMドライブがdの場合、次のようになります。

```
"d:¥sas¥setup.exe" /s /f2"c:¥temp¥splog.txt"
```

インストールの成否は、サイレントインストールのログを参照してください。

数字の2と二重引用符 (") の間に空白を入れないように注意してください。

付録C：クライアント層のためのサイレントモードによる Service Packの配置

サイレントモードは、オプションのインストールモードで、ユーザーと対話することなくインストールを行います。このモードは、企業内において、無人でSASソフトウェアを配置する管理者が使用します。

サイレントモードによるService Packの適用は、<SASHOME>/SP4/sp4.logにログファイルを作成します。サイレントモードによるService Packを適用後、このリストにはアップデートされたプロダクトのインストール場所に加えてアップデートされたプロダクトのコード化されたリストが含まれます。Service Packがアップデートするプロダクトを見つけられない場合、ログファイルには次のメッセージが含まれます。

```
No Updates Required: The Mid-Tier and Desktop Client Service Pack Wizard did not find any SAS software on your system that required an update.
```

「Service Pack 4 Installer」CDをCD-ROMドライブに挿入してください（UNIX環境の場合は、各オペレーティングシステムのマウントコマンドを使用してCDをマウントしてください）。サイレントモードを使用するには、適切なコマンドラインオプションを指定してインストールプログラムを起動する必要があります。

使い方：

```
<Setup_Program> -silent
```

例：

(Windows)

```
<CDROM_DRIVE>%srvpakall1cd%srvpakall1cd%javaupdate%setup.exe -silent
```

(Solaris)

```
<MOUNT_PATH>/srvpakall1cd/srvpakall1cd/javaupdate/setup_s64.sh -silent
```

各UNIX環境におけるインストールプログラムを下記の表に示します。

オペレーティングシステム	インストールプログラム
AIX	setup_r64.sh
HP-UX	setup_h64.sh
HP-UX (Itaniumプロセッサファミリアーキテクチャ)	setup_h6i.sh
Linux (Intelアーキテクチャ)	setup_lnx.sh
Linux (Itanium)	setup_lix.sh
Solaris	setup_s64.sh

著作権情報

このマニュアルの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

Installation Instructions -- SAS 9.1.3 Service Pack

Copyright® 2009, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

本書は、発行元であるSAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SAS プログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Instituteの著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS®およびSAS Instituteのプロダクト名またはサービス名は、米国およびその他の国におけるSAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

英語版更新日 December 4 2007

SAS 9.1.3 Service Pack インストール手順

2007年12月14日 第3版第24刷発行 (913SVX3)

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03(6434)3680 FAX: 03(6434)3681